

## 宇仁小学校等の利活用に関する意見交換会の要旨

日 時	令和6年10月25日(金) 19:00~20:15
場 所	八王子会館 大会議室
地元参加者	7名
市出席者	井上副市長 他8名

### ≪意見交換要旨≫

	主なご質問・ご意見	市の回答・説明
1	北部公民館を移動させてその中に協議会の朝市やふれあい喫茶を使えるスペースを作って欲しい。	今の泉中学校が令和10年度に廃校となり、その場所へ北部公民館を移す計画としている。協議会の事務所や朝市、ふれあい喫茶の開催場所については、幼稚園跡の活用や宇仁小学校の校舎の一部を間借りする等、今後の検討の中でまとめていきたい。
2	まちづくり協議会で話があがっていたのは、1点目に広域で不登校児童を受け入れられるような教育施設。2点目は、地域交流拠点施設であるが、民間に渡してしまったら地域での活用ができなくなる。 加西市の今後のスケジュールを見ると閉校したらすぐに次の取組みができるようになってきている。市のコストがかからないように民間に買い上げてもらい、民間でやってもらうという議論は置いて、話し合いをしていける環境を応援することも大事である。	スケジュールは案ということで示させていただいている。地域の声を吸収しながら学校の跡地活用を考えていきたいのでじっくりと話し合いをしていきたい。あと、宇仁小学校の残し方の話をされた中には、大きく分けて2つあると理解している。1つは教育施設として残す。もう1つは民間事業者に渡して、その中で、地域コミュニティ施設として残す。それが民間になるのか行政になるのか分からないが、地域コミュニティ施設として、皆が集まれるような施設を残していく。教育施設とした場合に、地域コミュニティ施設を同じ建物の中でするのは難しくなるが、複合施設でやってもいいのかという点は、今後、協議していきたい。
3	丹波篠山市の大芋や福住の場合、地域が指定管理を受けて全体を運営しており、行政も支援している。宿泊施設を運営している大芋では県や市の補助で、お風呂を整備している。同時に地域の人をフル活用して、都会の宿泊者と地域の人と一緒に収穫祭を行っており、そういった交流を広げている。地域の力を活かして跡地活用するというのは1つの方向性としてあっていいのではないか。	大事なところである。地域がやろうとすることは、地域の色が出るので特色あるまちづくりや跡地利用に繋がる。そこは地域主体型の指定管理というのも1つの選択肢になってくる。 説明資料の事例9では、神河町の学校跡地を但馬米穀(株)がスマート農業研究施設として活用しているが、地域と連携した取り組みがある。例えば、地域から、運動場をキャンプ場として活用してはどうかという声を聞いたことを受け、キャンプ場に変えたり、使っていないグラウンドはグラウンドゴルフと

		して利用できるようにしている。企業が施設を借りて運用しているが、地元の意見を全面的に取り入れて、一緒にやっていくという形もある。
4	宇仁地区では、朝市、うにバス、歴史資料館、ふれあい喫茶と様々な活動をしているが、場所がバラバラである。小学校の一角を拠点にできればいいと思う	宇仁小学校も校舎の使い方は色々あるので、職員室や調理室がある方は地域の方で使って、教室がある方は民間に貸すとか、校舎の中で線引きができれば良いと思う。
5	ホールには図書があるので子供達が来て、その横で朝市をしているという風になっていけたらいいなと思う。	1つの校舎の中で民間と地域と行政が連携して、そういった公民館のような活用方法も考えられる。
6	6年生の意見集約ができれば学校から市の方に上がると思うので、参考にさせていただきたい。	小学校が廃校になったあと、どうなって欲しいかを子供達が市の方に聞く機会を設けて欲しいと校長先生からも聞いており、いただいた意見は参考にさせていただく。
7	八王子神社の宮司さんも駐車場の問題から住宅地にすることはどうなのかと思われているが、事業を進めて欲しいという人達からすると実現して欲しい思いもある。	八王子神社の行事の時に、駐車場がなくここに停めたいということも聞いており、その代わりとなるのが多目的グラウンドになると思っている。
8	運動場を住宅団地にすると、市としては売れると考えられているが、その要素はなにか。	宇仁は場所的に西ではなく、播磨中央公園、JR加古川線の社駅・滝野駅等、加東市方面へのアクセスが良い。うにバスも駅まで運行しており交通の便も良く公園も近いといった立地条件から、来られる方もいると考えている。また、宅地分譲価格を安価な金額に設定する。10年程前にベルデしもさとで分譲した際には、すぐに売れたこともあり安価すれば売れると考えている。
9	これまで、国正町や小印南町からすれば、泉小学校に行くより滝野中学校を選択する子供も少なくなかった。今後、同じ宇仁地区の子供が兵庫教育大付属小・中学校、滝野小中一貫校、泉小・中学校にそれぞれ行くことになり、まとまりがあったものがそういうふうになっていく不安がある。地域の子供として育てていけるかが、新しい課題になってくる。	今回の小中学校再編の中で、残す学校の教育力を上げることが重要であり、市全体で特色ある教育を目指すことを掲げている。学校再編により、今後は、分離型の小中一貫で進めていくので、教育力の向上についてアピールしていく。 加西の教育の魅力を上げるための方針として、教育3本の矢を掲げており、まず、基礎基本を高める加西B A S Eで国語力や読書等の基本的な部分を上げていく。英語力を高める加西G L O B A L、以前から取り組んでいる加西S T E A M。この3つを他にない特色として発信して、加西市の教育力を高めていきたいと思っている。